

任務中の事故によりお偉いさんらと一緒にながされてしまいました

「子息様の「厚意」によりタガが治るまでおはえすまい」と水に溺っていたあなたを救った。

しばらくの間戻らぬゆえ・・・後の「」とは任せたま。んっ♡

「子息殿・・・いえ、坊っちゃんま。

何なりと「用命」ください。・・・なっ♡

さっそくすのお世話とは・・・♡いざ、「言はない」・・・♡

歳の割にはなんとも「立派な毛」をお持ちのようです♡・・・「へん♡

誠心誠意♡見て下さい♡いたゞい♡



んおっ♡ほおん♡おほっ♡おほおん♡

とても雄のチン突きとはおもえぬっ♡おん♡おん♡おん♡みことなり捌きッ♡すこっ♡
は、孕むう♡メスウマの本能がさわぐっ♡優秀なオスの遺伝子を子宮が求めてパクっ♡





1711

1711



愛



おや。そなたか…ス方ぶりであるな。見この通り。

某は「主人サマに伴われて散歩をしろいさむ」んだ。言ってなかったか？

メスウマ生オナホとして飼育していただくんよになったのだ♡

ケガはどうに癒えたが、「季節の間はとて男らしいイチモツにて濃厚種づけ交尾の毎日♡
散々わからされてしまった♡子もは込ましてしまっては坊っちゃまの所有物として
おはえする他なく。某も「のチンポにメロメロ♡空巡局に戻る気もさうさらないのだ♡



